

# 廃棄物処理技術

有力企業の製品・技術 ▼順不同▼

## ホーライ

ホーライは半世紀にわたり、せん断式粉碎技術によってさまざまなりサイクルに貢献してきた。循環型社会の実現を目指し、あらゆる資源の効率よいリサイクルを実現するため、破碎・粉碎技術は重要な要素技術である。同社が新たに発売した粉碎機もまた、リサイクルの現場での作業効率を追求して開発された新鋭機である。

新型2段式粉碎機「KR 2060、XI 2060」は、自動車のバンパーや内装材などの大型プラスチック成形品の粉碎を目的に開発された機種で、小さな動力で大きな対象物を効率よく粉碎する。コンパクト設計で、設置スペースを節約した。本体構造やモーターの取り付け方法にも工夫を凝らし、投入口を低くしたために作業性が飛躍的に改善されている。

## キムラ

キムラは技術のKIMURAグループとして、切断機や空き缶プレス、ペットボトル減容梱包機などスクランププレス機はもとより、環境リサイクルプラントや装置の開発から製造、販売までを行っている。生産性を考慮したスクランプ工場のレイアウトや、二段に合った機械を独自で開発・提案している。

特にスクランププレス機に切断機を融合させた「ギロチン切断機」は、設置場所の省スペース化や導入コストダウンに貢献する。ギロチンと呼ばれる強力な切断機によってプレスした成形品を任意のサイズにすることが可能ため、スクランプの引き取り選別に対応できる。プレス機のみの稼働も可能で、標準機種の最大圧力は $24\text{kg/cm}^2$ 。今後も豊富な技術の蓄積と経験を生かし、ニーズを先取りする一品一様のモノづくりに挑戦していく。

## タジリ

タジリはバイオマス系廃棄物のリサイクル向けなどに「気流式乾燥装置」を発売した。おからや木くずなどの廃棄物を乾燥・粉末化する。セラミックスや次世代電池向け材料などの乾燥用途にも対応。装置価格は1000万円から。含水率80%程度の被乾燥物を同15%まで乾燥させることができる。被乾燥物をボイラの熱風で送りながら分散板の高速回転で微細化することによって、木片のように水分を含んだ原料を乾燥し、ペレット化する一貫プラントの提供が可能になる。

## 森鉄工

森鉄工は銑ダライ、鋼ダライをはじめ、銅、アルミニウムなどの切削スクランプについて、ユーザーからのさまざまな「カタメル」とへの相談を受け付けている。鋳物铸造業界では塊状に成形したダライ粉ブリケットを溶解原料に使用し大幅なコストダウンができるか否かで大きな格差が生じている。キユボラ溶解向けに導入が進んだブリケッタマシンは、電気炉溶解へと広がりをみせており。そこで問題になるのが、切削液に混入している油分を原因とする炎と煙の発生だ。同社のユーザーはこの問題をリングフードの改善などで解決し大きなメリットを享受。ユイザーは「炎や煙の発生をブリケットを導入しない理由にすることは簡単。しかし困難を克服しなければコストダウンはできない」と話している。

## 大連精工場

大連精工場は資源の再利用につながる粉碎機・破碎機の専門メーカー。1958年にプラスチック粉碎機の研究・開発をスタートし、同粉碎機分野の製造に取り組んできた。50年以上にわたる経験と実績を背景にユイザーから高い支持を得ている。同社の粉碎機・破碎機は、プラスチッククリーサイクルや生薬、竹、木材、非鉄金属、廢棄物処理関連など、幅広い分野で導入される。丈夫な構造に加え、過酷な使用条件にも強いという特徴を持つている。破碎例としては樹脂容器、樹脂パレット、缶、ビンや産業廃棄物、粗大ゴミ、家屋の廢材などがある。各種用途で資源の再利用化を担う。テスト利用を無料にしている。

## 福田刃物工業

福田刃物工業は創業116年の機械刃物専門メーカー。1921年に製本・紙工向け断裁包丁を開発。以降、「切る」とことに関する実績を積み上げ、全産業向けに刃物を生産している。中でもペットボトル、ファイルム、タイヤなどのリサイクル需要で伸びている粉碎刃は、ハイスや超硬など全ての材質について、長尺の「ロウ付け」ができる技術とロウ付け後に切り分けて製品にす

る技術を使っており、コスト競争力も高い。

同社は全て正社員雇用で、製品は全て国内一貫生産。顧客のニーズと仕様に合わせた完全受注生産を行う。また耐久性・切れ味の向上を追求しつつ、長年の実績に基づく提案力、柔軟な納期対応力も同社の特徴。さらに購入前の相談からトラブル解決、購入後の修理など充実したカスタマーサポートを提供している。

### リサイクル資源の分別・回収に!!

**新発売!! つロボックス**



**リレーバッグ**

リレーバッグ

リレーバッグ